

記者発表資料4枚

平成26年12月15日(月)

福島県土木部会津若松建設事務所

建設業の魅力☆PRプロジェクト

「現場フォトコンテスト(会津若松地区・宮下地区)」の入賞作品を展示します。

- 建設業は、災害等緊急時における復旧において、ライフラインの確保など重要な役割を最前線で担っており、県民の日常生活に不可欠な存在であります。必ずしも適正な評価に繋がっておらず、業界の人手不足や、建設業の将来を担う若い世代における就業意欲の向上が課題となっています。
- このフォトコンテストは、これまであまり注目されなかった建設業従事者に光を当てる試みであり広く周知すべく県庁でも展示することとしました。
今後も、建設業のイメージ向上に向け取り組み、県民の安全・安心を支えてまいりたいと思います。

【入賞作品展示】

- ▶展示場所：福島市杉妻町2-14(県庁西庁舎2階・県民ホール渡り廊下)
- ▶展示期間：平成26年12月15日(月)～12月26日(金)

【フォトコンテストの概要】

建設現場で働く「人」「重機」にフォーカスを当て、熱意を持ってイキイキと働く姿を写真でカッコイイ写真を表現し、建設業の魅力を広く伝えることを目的にコンテストを行いました。

各社が提供した写真の中から、一般の方(273票)の投票で入賞作品を決定し表彰しました。

- ▶投票期間10月4日～11月3日(まちなかアートプロジェクトに参加する会津若松市内の蔵)
- ▶表彰式11月19日(会津若松建設事務所)実施済み



【問い合わせ先】

土木部 会津若松建設事務所

主幹兼企画管理部長 諏江(すえ) 勇

企画調査課長 矢澤敏幸

電話 0242-29-5402 内線 8-11-500-402

FAX0242-29-5459

【関連情報】

■会津若松建設事務所が取り組むPR

今年5月より、福島県会津若松建設事務所と（一社）福島県建設業協会会津若松支部・宮下支部で「Change! どぼく実行委員会」を設立し、建設業の適正な評価に向けた取り組みを進めてきました。

委員会では、「現場の見える化」や「Facebook を活用した情報発信」、「會津 美 Lady」による現場説明会、「フォトコンテスト」など、建設業全体のイメージアップを図っています。

【会津若松建設事務所 Facebook のページ】

<https://www.facebook.com/AizuwakamatsuKensetsu>



建設業の魅力☆PRプロジェクト

現場フォトコンテスト実施概要

主催：福島県建設業協会若松支部・宮下支部

共催：Change!どぼく実行委員会

後援：福島県会津若松建設事務所、福島民報社

福島民友新聞社、福島建設工業新聞社

■概要

建設現場で働く「人」「重機」にフォーカスを当て、熱意をもってイキイキと働く姿を写真で表現し、建設業の魅力を広く伝えることを目的とし、コンテストを行いました。

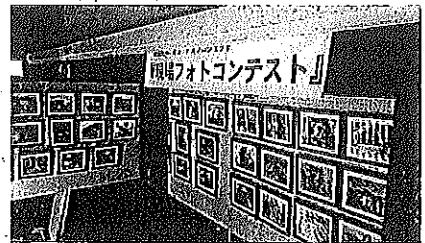
協会会員各社より下記の部門別の写真を募集し、一般の方々からの投票で現場のカッコイイ写真を表彰しました。

■テーマ

「建設業ってカッコイイ！」

■募集部門

- ①現場技術者部門（現場代理人等の技術者の皆さん）
- ②現場技能者部門（職長、世話役から職人の皆さん）
- ③重機部門（重機を運転しているオペレーターの皆さん）
- ④女性部門（建設現場で働く女性の皆さん）
- ⑤現場風景部門（現場の全景やPRしたい現場風景など）



■応募資格

建設業協会若松支部または宮下支部の会員各社

■審査方法

日時：平成26年10月4日（土）～11月3日（月）の期間の土日、祝日

9：00～17：00

場所：街中アートプロジェクトに参加する蔵（会津若松市上町3-24 元神山薬局）

審査方法：沿道を通る市民や観光客の方による投票（投票者に粗品進呈）



■投票結果

投票総数 273票

受賞作品 展示写真をご覧ください。



